

2000年1月1日～2023年2月28日の間に
当科において炎症性肉芽組織、線維性過形成、カンジダ症、扁平苔
癬、過角化症、上皮過形成、上皮性異形成、上皮内癌、扁平上皮
癌、多形腺腫、粘表皮癌、腺様嚢胞癌の治療を受けられた方へ
—「顎口腔における増殖性病変の発生と進展の分子病理学的研究」へご協力のお願—

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
研究機関長 成瀬 恵治

研究責任者 岡山大学学術研究院医歯薬学域
口腔病理学分野 准教授 中野 敬介

研究分担者 岡山大学学術研究院医歯薬学域
口腔病理学分野 教授 長塚 仁
岡山大学学術研究院医歯薬学域
口腔顎顔面外科学分野 教授 伊原木 聡一郎
岡山大学学術研究院医歯薬学域
口腔病理学分野 助教 高島 清文
岡山大学学術研究院医歯薬学域
口腔病理学分野 助教 河合 穂高
岡山大学学術研究院医歯薬学域
歯科薬理学分野 助教 江口 傑徳
岡山大学病院
歯科総合診断室 医員 吉田 沙織
岡山大学病院
口腔外科（口腔顎顔面外科部門） 医員 小野 喜章

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

口腔（こうくう）は粘膜や歯、唾液腺等のさまざまな組織によって構成されています。口腔の癌は主に舌や歯肉に発生しますが、近年その罹患率、死亡数は増加傾向にあります。口腔癌は早期に見ればその多くで治癒を見込めますが、口の中という特殊な環境下には、癌の初期症状と類似した別の病変も多く発生し、癌の早期発見を妨げる原因となっています。また、口の中は様々な組織や器官が複雑に入り組んだ領域でもあり、癌が周囲組織に進展すると、口に関連する様々な機能の喪失を引き起こしやすく、生活の質の著しい低下を引き起こす場合があります。私たちはこれまでの研究で細胞の増殖や細胞死への関与が知られる物質である Yes 関連タンパク質(YAP)（細胞増殖抑制経路の主要な制御因子として機能し、組織の成長と器官サイズを制御しています。）をはじめとして、癌の発生、進展を引き起こす因子に着目し、これらの物質が腫瘍細胞の発生や腫瘍の性質の獲得に深くかかわる可能性を見出しています。本研究では、癌と似ている疾患、前癌病変、癌を対象とし、検査や手術時に採取された細胞や組織を用いて、口腔がんの正確な診断、発生、進展のメカニズム解明に繋がる研究を行います。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

口腔では癌の初期症状と類似する病変が多く早期発見を妨げる原因となっています。また口の中は構造や機能が複雑で、癌の進展により容易に機能喪失や生活の質の低下を引き起こします。

本研究で口腔癌の発生、進展のメカニズムの一端を明らかにすることにより、癌の早期発見のための新しい検査方法や、正確な診断方法、癌の進展を抑える新しい治療法の開発につながると考えられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2000年1月1日～2023年2月28日の間に岡山大学病院口腔外科において炎症性肉芽組織、線維性過形成、カンジダ症、扁平苔癬、過角化症、上皮過形成、上皮異形成症、上皮内癌、扁平上皮癌、多形腺腫、粘表皮癌、腺様嚢胞癌の治療を受けられた方1500名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2028年3月31日

3) 研究方法

2000年1月1日～2023年2月28日の間に当院において炎症性肉芽組織、線維性過形成、カンジダ症、扁平苔癬、上皮過形成、上皮異形成症、上皮内癌、扁平上皮癌、多形腺腫、粘表皮癌、腺様嚢胞癌の治療を受けられた方の診療情報をもとに、病理診断に使用した標本と残余の組織を選び、細胞や組織の形態分析、腫瘍の発生や進展に関係する因子の出現を調べます。

4) 使用する試料

この研究に使用する試料として、すでに病理診断に使用した標本、残余の組織を使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、既往歴、診断名、治療内容、処置日、術後の状態

6) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科口腔病理学分野で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、本ホームページおよび掲示板にポスターを掲示してお知らせします。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせす

作成日 2023年7月5日

第4.0版作成

することもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを個人情報かわからない形にして、学会や論文、インターネット掲載で発表しますのでご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2023年11月30日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔病理学分野

氏名：中野敬介

電話：086-235-6651（平日：9時00分～18時00分）

ファックス：086-235-6654